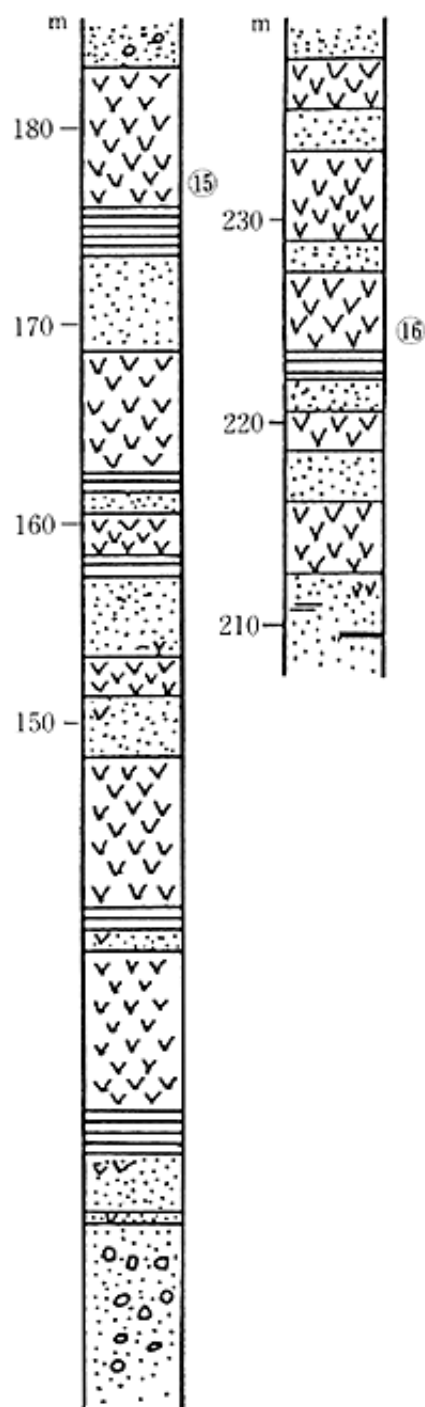


トサミズキ属 Corylopsis sp.



▲発見地点、左：垂水区名谷町、右：兵庫区鶴台の柱状図



▲三主脈と三角形のような葉が特徴



▲トサミズキ属の化石の産出のようす

トサミズキ属

葉は卵形またはやや三角形を丸くしたような形になる。先は細くなって急にとがり、基部はハート形をしている。葉の縁には、のこぎり葉があり、葉脈が葉の縁ののこぎり葉を作り、短針状になる。

白川累層上部の凝灰岩中に多産するところがあり、産出地点も多い。 現生のものは、東アジアとヒマラヤに10数種が分布して、日本には4種ある。

(マンサク科トサミズキ属 *Corylopsis* Sieb . et Zucc .)



デジタル化 神戸の自然シリーズ 16 神戸層群の化石を掘る メニューへ